

中部環境計量士会だより

2009年11月20日発行

第6号



【写真の説明】 夏の日の中毛湿原に咲くサギソウ

中毛湿原は、南アルプスから続く標高300メートル程の弓張山系に三方を緩やかに囲まれ、背後の山々からの年中涸れること無く流れる湧水によって、カザグルマ、シラタマホシクサ、ミカワシオガマなど伊勢湾周辺の湿地群独特の植物が生育しています。また、豊橋市の市街地に近いことから、多くの市民の憩いの場となっています。

1 最近実施した行事

【見学会】

日 時：平成21年9月5日（土）

参加者：石川 創、石原好実、大井民男、大蔵昭英、小林良二、近藤浩子、鈴木 全、田中義身、玉置紘司、則竹昌幸夫妻、阪野二郎、由利富士雄、山田寛人、

佐藤まゆみ の皆さん (15名参加)

(見学施設・場所)

田原リサイクルセンター炭生館、田原市エコパーク風力発電施設、田原臨海ウインドファーム、道の駅「ロコステーション」、表浜海岸 (ロングビーチ (アカウミガメ産卵地)、日出の石門、伊良湖ビューホテル (風力発電施設とサシバの渡り中継地展望)、渥美風力発電所、蔵王山展望台風力発電施設

2 今後の行事予定

【勉強会と懇親会】

日 時：平成22年2月6日 (土) 14時～17時

場 所：大同特殊鋼(株)健保会館

(話題提供者を募集します。話題は、何でも結構です。阪野さん (jiro_banno@zttc.or.jp) までお願いいたします。)

☞勉強会の後、親睦会が予定されています。多数の参加をお待ちしています。

3 最近の環境関係法令の動き

- 「微小粒子状物質 (PM_{2.5}) に係る環境基準について」の告示 (2009年9月9日)

都市域を中心に道路沿道における浮遊粒子状物質による汚染が依然として深刻であり、またディーゼル車から排出される粒子状物質の対策も緊急の課題であったため、粒径2.5 μ m以下の微小粒子状物質 (PM_{2.5}) の環境基準が新たに設定された。

環境基準：年平均値 15 μ g/m³ 以下 日平均値 35 μ g/m³ 以下

測定方法：濾過捕集による質量濃度測定方法又はこの測定方法によって測定された質量濃度と等価な値が得られると認められる自動測定機による方法

(注) 微小粒子状物質とは、大気中に浮遊する粒子状物質であって、粒径が2.5 μ mの粒子を50%の割合で分離できる分粒装置を用いて、より粒径の大きい粒子を除去した後に採取される粒子をいう。

4 新会員の紹介

鉢呂 英文 さん (化学会社勤務)

発行 中部環境計量士会編集委員会 (責任者 石川)

〒460-0022 名古屋市中区金山1-2-4 アイデイ・エリア405号

(社) 愛知県環境測定分析協会

中部環境計量士会 Tel 052-321-3803

ホームページ <http://www.c-kankyou.com/>